

令和元年度第2回中津川市公共交通会議 議事要旨

日 時 令和2年1月21日（火） 11:00～12:00
場 所 にぎわいプラザ B-1 ホール
出席者 委員24名（うち代理出席8名）、事務局4名、傍聴者2名

■開会

■会長あいさつ（大井副市長）

- ・免許返納や高齢者の交通事故をなくす取り組みが必要と言われるが、中山間地では自家用車がなければ暮らしが厳しい現実がある。
- ・公共交通は重要であるが、運転手不足、公共交通が利用されないといった課題がある。委員の皆さんの知見により、課題解決に向けて今後も様々なご提案をいただきたい。

■報告

議題1 地域公共交通確保維持改善事業に関する自己評価について

- ・議題1について説明（事務局）

【質疑・意見等】

○福本委員（名古屋大学客員准教授）

- ・バス通学割合の評価指標は未達成ではあるが、高校生定期利用者を増やす取り組みとして、バス通学定期補助金や学生フリーパスなどを行っている。今後も新しい取り組みを検討していく必要がある。

○鈴木委員（岐阜運輸支局）

- ・坂下病院が診療所化されたことで変化はあったか。

○今井委員（株サカガワ）

- ・地域検討会を開催して意見を聞いている。診療時間の変更に対応して欲しいといった声がある。1台の車両が過密ダイヤの中で運行しており、乗務員の休憩時間も確保しなければいけないため、ダイヤ改正は厳しい状況。

【採決】承認

■報告

報告1 （一社）最先端田舎中津川での地方バス活性化の取り組みのご紹介

- ・報告1について説明（福本委員、事務局）

【質疑・意見等】

- ・なし

報告2 中部運輸局長表彰（一般協力者）の受賞について

- ・報告2について説明（事務局）

【質疑・意見等】

○鈴木委員（岐阜運輸支局）

- ・表彰対象者は各運輸支局からの推薦。岐阜県内でこの表彰区分で受賞したのは過去にもほばいないと思われる。

■その他

○有路委員代理（濃飛乗合自動車株）

- ・下呂加子母線のダイヤ改正を4月に行う。過去3年の利用実績がないため、下呂発最終便を帯雲橋以遠の停留所を降車専用とし、最終旅客が下車する停留所まで運行する。また、加子母総合事務所発の最終便を廃止する。利用者への周知は新聞折り込みで時刻表を配布する。
- ・高山馬籠バスは8カ月で2300人の利用があった。来年度は本格運行に移行したいと考えている。

○福本委員（名古屋大学客員准教授）

- ・苗木城線のバスは春秋の土日祝運行。常に公共交通で行ける環境を整えることが重要。ハイシーズンはバス、それ以外の時期にはタクシーを活用した取り組みができると考えている。タクシー事業者の協力をいただき、プロジェクトチームを組んで検討したい。

■議事終了、閉会